

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩スポーツセンター	評価対象年度	平成28年度
事業者名	株式会社多摩オールフラッツ	評価者	地域振興課長
指定期間	平成22年12月1日～平成33年3月31日	所管課	多摩区役所 地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	33,983	44,653	35,843	52,455	33,197	41,883	54,300	40,419	31,778	31,268	35,592	37,737	473,108
収支実績 (単位:千円)	収入	指定管理委託費	137,675	134,605	△ 3,070								
		利用料金収入	68,815	83,788	14,973								
		事業収入	62,971	77,000	14,029								
		雑収入	8,900	11,363	2,463								
		収入計	278,361	306,756	28,395								
	支出	管理運営費	169,064	203,464	34,400								
		光熱水費	47,000	38,921	△ 8,079								
		保険料	1,243	1,072	△ 171								
		その他	26,533	15,236	△ 11,297								
		支出計	243,840	258,693	14,853								
収支差額	34,521	48,063	13,542										
サービス向上の取組	<p>◇温水プールの水抜き清掃に合わせて着衣泳体験やプールでの事故を想定した救助講習会を実施しているほか、職員を対象に火災や地震を想定した避難訓練・不審者対策の防犯訓練・AED使用法などの訓練を実施、救命講習会を定期的に受講するなど、安全・安心な施設の提供と不測の事態に備えている。</p> <p>◇不審者、傷病者など施設内でのトラブルを早期発見・対応するため、1時間おきの巡回パトロールで利用者に積極的に挨拶や声かけを行い安全面の強化に努めている。</p> <p>◇スポーツ備品などの日常点検を強化し老朽化したものや故障品などをいち早く発見し、修理及び交換作業を迅速に行っているほか、空き時間を利用して大体育室など各室床面の点検頻度を増やし、常に良好な施設環境を提供している。</p> <p>◇室温上昇対策のため、プール更衣室に続き、一般男女更衣室にも扇風機を各1台新たに設置。また、館内すべてのトイレにシューズのまま履けるスリッパを増やすなど、利用環境の向上に取り組んでいる。</p> <p>◇テニスコートのナイター利用での時間点灯や、野球場の天候によるグラウンドコンディション不良時の無料キャンセルなど、利用者要望に臨機応変かつ柔軟に対応している。</p> <p>◇自由提案事業として巡回バスを運行(小田急線生田駅・JR南武線中野島駅の2ルート)、平成24年度から中野島駅ルートについて京王線稲田堤駅前を加えるなどの変更を行い、継続して利用者の利便性向上を図っている。</p> <p>◇チャージカード(1000円)と回数券(10回分の料金が11回利用)は、前年比122.5%とリピーター定着に繋がっている。</p>												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加減割合)	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	4(0.8)	4
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
管理業務の実施状況	(評価の理由)	<p>◇基本方針に基づき、快適な利用環境と公平・平等な利用を確保しながら、子供から高齢者まで、障害を持つ方にも安心して気軽に利用していただけるようサービスの向上に努めているとともに、事業計画に基づいた施設運営がなされている。</p> <p>◇利用者数が473,108人と前年度に比べ33,223人増加、開館からこれまで順調に利用者が増加していることから、これまでの様々な取組の成果と評価できる。</p> <p>◇地域の高齢者向け健康体操や認知症・転倒予防運動の講師として健康運動指導士を4回派遣し館外活動にも積極的に取り組んでいるほか、自主事業として地域包括支援センターの協力のもと認知症サポーター養成講座を27年度から開講し市民に加え全職員が受講し地域連携の分野で社会体育施設としての役割を果たす取組と評価できる。</p> <p>◇維持管理・運営業務について、モニタリング定例会を実施して代表企業と維持管理企業とのコミュニケーションを図り、業務の品質維持と向上に努めている。</p> <p>◇ご意見箱にいただいた要望等は館内に回答を掲示しモニタリング定例会で共有している。また、教室参加者アンケートを実施し、意見や要望を事業に反映できるよう努めている。</p>			
	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすことの無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	4(0.8)	4
(評価の理由)	<p>◇利用券の現金購入の不便さを解消するためのチャージカードや1回分お得な回数券の設定や屋外施設の天候不良時の無料キャンセル、照明の時間点灯などにより、利用者の利便性及びサービス向上の取組を行っている。</p> <p>◇利用者数は前年比107.6%となり、中でも温水プール(前年度比104.2%)とトレーニング室(前年度比108.9%)の個人利用者が増加。近隣小学校や老人いこいの家、民間施設などに出向き広報チラシの配布を依頼するなど利用促進に努めており、回数券利用者の増加等によりリピーター数が着実に増えていることが推測されることから、開館から順調に運営されており、これまでの利用促進に向けた様々な取組の成果と評価する。</p> <p>◇職員を対象とした火災や地震を想定した避難訓練、不審者対策の防犯訓練、プールでの事故を想定した救助訓練、急病人等の対応としての救命講習会、接遇研修の受講を定期的・継続的に実施し、職員の資質及び技能向上に努めている。</p>				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
(評価の理由)					
<p>◇4回目となる「多摩区スポーツフェスタ」の開催にあたっては、実行委員会において内容検討から参加し、施設の提供に留まることなく、メイン会場としての運営や担当開催種目の実施(16種目)等、第1回の開催から円滑な事業の実施に多大な貢献をしていることは高く評価できる。</p> <p>◇トレーニング室の運営事業については、新たな機器を導入し女性利用者が増加、機器の日頃のメンテナンスの徹底や最新機器との入れ替えなど、利用者満足度の向上に取り組んでいる。</p> <p>◇スポーツ教室事業については、短期及び特別事業も含め、幼児から高齢者、障害者などを対象とした幅広い教室(約60種目)の企画運営がされていること、人気教室の増設や土曜日開催教室の開講、新たに、乳がんを患った方向けの水中運動教室に全面協力を行うなど、利用者ニーズに応える内容を提供しており、受講者が延べ74,500人(前年比100.8%)と増加していることは評価できる。</p> <p>◇小田急線生田駅とJR南武線中野島駅・京王線稲田堤駅を結ぶ2ルートの巡回バスを運行している。平成24年度から中野島駅ルートに京王線稲田堤駅前をルートに加えるなどの変更を行い、利用者の利便性向上に継続して取り組んでいる。</p>					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	4(0.8)	4
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由)					
<p>◇これまで継続して利用者サービスの向上に取り組んでいることから、個人利用者(前年比104.4%)、団体利用者(前年比111.3%)ともに増加しており、増収に繋がっている。</p> <p>◇収支において、開館以来これまでも継続して計画的に安定した運営が行われており、今後も同様に安定した経営が見込まれる。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

今回の事業評価は7年次目の評価となるが、平成22年度は屋外施設のみでの運営であり、屋内施設を含めた運営は平成23年度からとなっている。

施設の運営に関しては、公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすように努めていると評価する。特に平成28年度の利用者数は平成27年度に比べ33,223人増加し約7.6%の増加率となっており、開館から順調に運営されており、これまでの利用促進に向けた様々な取組の成果と評価する。

評価内容としては次のとおり。

- ・地域のスポーツ振興を担う施設としてスポーツ活動の場を提供するとともに、スポーツ教室事業については、幼児から高齢者、障害者などを対象にした幅広い教室の企画がされていること、人気教室の増設や土曜日開催教室の開講、新たに、乳がんを患った方向けの水中運動教室に全面協力を行うなど、利用者の要望に応える内容を提供し積極的な事業展開を図っていることから教室受講者の増加に繋がっている。
- ・4回目となる「多摩区スポーツフェスタ」の開催にあたっては、実行委員会において内容検討から参加し、施設の提供に留まることなく、メイン会場としての運営や担当開催種目の実施(16種目)等、第1回の開催から円滑な事業の実施に多大な貢献をしている。
- ・職員を対象とした火災や地震を想定した避難訓練、不審者対策の防犯訓練、プールでの事故を想定した救助訓練、急病人等の対応としての救命講習会、接遇研修の受講を定期的・継続的に実施し、職員の資質及び技能向上に努めている。
- ・自由提案事業として、開館以降巡回バスを運行しており、継続して利便性やサービスの向上を図り、利用者へ配慮した施設運営に努めている。
- ・近隣小学校の水泳授業に施設を提供し、学校と連携して施設の有効活用を図るなど、地域との連携に努めている。
- ・温水プールの水抜き清掃に合わせて着衣泳体験と救助講習会を実施するなど施設を生かした研修会等を毎年実施している。
- ・地域の講座に健康運動指導士など指導者派遣を平成26年度から実施、28年度も4回派遣し継続して実施していることから館外活動にも積極的に取り組んでおり、地域連携の分野で社会体育施設としての役割を果たす取組と評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

市民の誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめるスポーツの拠点として、スポーツを通じてのまちづくりと、市民の健康、体力の維持・増進やスポーツ事業の推進、生涯スポーツの振興を図るよう、これまで同様に努めること。

また、公平で平等な利用の確保と経済性にも留意しながら、公共性と効率性の両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営に引き続き努めること。

開館以来、毎年利用者数が増加しており、中でも回数券利用や教室参加者の増加、利用者アンケートの結果から着実に地域のスポーツ施設として認知されてきていることから、今後においても施設外に目を向け、地域活動への貢献や施設のPR活動に積極的に取り組むこと。

利用者アンケートの結果を的確に分析し、常に利用者ニーズの把握に努め、提供するサービス水準の向上に取り組むことはもちろん、日頃の施設メンテナンスにも重点を置き、施設利用に支障が出ないよう、また利用者の安全を最優先とした施設の運営・維持管理を行うこと。

平成29年秋のスマートフォン対応を含めたホームページのリニューアルにあたっては、市ホームページアクセシビリティ対応基準書、作成ガイドラインを遵守して適切に対応すること。また、FacebookやTwitterなどのSNSを活用した情報発信に努めること。